第 199 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録

１．日時　　2010 年 12 月 16 日(木)　10:00～12:00
２．開催場所　　電気学会本部 第一会議室
(〒102-0076 千代田区五番町 6-2 HOMAT HORIZON ビル 8 階)
３．出席者　　(順不同，敬称略，○：出席，×：欠席)

幹事団

長尾委員長(豊橋技科大)	○	田中(康)幹事(東京都市大)	○	芦辺幹事(住友電工)	○
高橋幹事補佐(電中研)	○	今井幹事補佐(東芝)	○		

１号委員

岡下委員(昭和電線)	○	岡本委員(富士電機)	×	小林委員(日立製作所)	×
清水委員(東芝)	○	高橋委員(ビスキャス)	×	中坊委員(日新電機)	×
菱川委員(ﾊﾝﾂﾏﾝ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ)	○	藤井委員(日本ｶﾞｲｼ)	×	穂積委員(愛知工大)	○
本城委員(三菱電線)	○	武藤委員(三菱電機)	×	渡辺委員(日立電線)	○

２号委員

池田委員(JX-E)	○	岩本委員(東工大)	×	加藤委員(新潟大)	×
田中(祀)委員(早稲田大)	×	本間委員(電中研)	×		

４．提出資料

番号なし	第 198 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録 (案)
DEI-199-1	電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿
DEI-199-2	第 86 回 基礎・材料・共通部門 研究調査運営委員会 代理出席報告
DEI-199-3	屋外ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術調査専門委員会 第 2 回 議事録
DEI-199-4	第 9 回 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 議事録
DEI-199-5	調査専門委員会フォローシート (2010 年度計画)
DEI-199-6	平成 22 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定 (3 次案)
DEI-199-7	「アジア地区における有機誘電体・導電性電気電子材料研究の最前線」に関する調査専門委員会 設置趣意書
DEI-199-8	第 41 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム 開催報告
DEI-199-9	第 200 回 誘電・絶縁材料技術委員会 ～200 回記念特別委員会～ 実施案

５．議事内容

5-1. 議事録の確認・承認（今井幹事補佐）

第 198 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)の確認を行い、下記項目を修正の上、承認された。

3 頁 5-5	誤) 資料 DEI-197-4	正) 資料 DEI-198-4
4 頁 5-7	誤) 資料 DEI-197-6	正) 資料 DEI-198-6
4 頁 5-7	誤) CIGRE 長尾(豊橋技科大)	正) CIGRE 穂積(愛知工大)

5-2. 名簿の確認（高橋幹事補佐）

資料 DEI-199-1 に基づき、委員の所属等についての確認を行った。修正がある場合、高橋幹事補佐に連絡する。

5-3. 第 86 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会 出席報告（高橋幹事補佐）

資料 DEI-199-2 に基づき、代理出席した高橋幹事補佐から、基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事内容において、当技術委員会に関係の深い事項が報告された。

- 技術報告賞について

  売り上げの多い技術報告については、当該技術委員会長に連絡済。当委員会関連の調査専門委員会は該当なし。

- 研究会資料の形式について

  論文形式を基本とするが、特別講演や招待講演等については論文形式以外の資料(PPT 資料)なども認める方向で検討中。この際、論文番号は採番しない。

  → 後の運営委員会で上記は却下され、研究会資料としては、従来通り論文形式のみとすることが決まった。

- 調査専門委員会の設置承認について

  「アジア地区における有機誘電体・導電性電気電子材料研究の最前線」に関する調査専門委員会について、再々審議の上、設置が承認された。

- 業績賞について

  家田賞，矢作賞受賞者から、当技術委員会として推薦する方向で検討を進める。

  → 当技術委員会内での選考方法について、次回(第 200 回)技術委員会で検討する。(田中幹事が草案を作成)

- 優秀論文発表賞(基礎・材料・共通部門表彰)について

  優秀論文発表賞(基礎・材料・共通部門表彰)が、部門役員会での議決を受けて設立される。優秀論文発表賞 A の割当数の 2 倍を上限とする。

  当技術委員会では、下記の方針で推薦を行う。
  当技術委員会関連の研究会発表論文から、優秀な発表論文を選び出し、
  上位の発表論文を、優秀論文発表賞(基礎・材料・共通部門表彰)
  下位の発表論文を、優秀論文発表賞 A
  に推薦する。
  また、電気電子絶縁材料システムシンポジウムでの発表を中心に、IEEE DEIS Japan Chapter の若手表彰(35 歳以下)に、1～2 名(最大 3 名)を推薦する。

  → 当技術委員会内での選考方法ついて、次回(第 200 回)技術委員会で検討する。(芦辺幹事が草案を作成)

5-4. 第 2 回 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術調査専門委員会 議事録の報告（代理報告 高橋幹事補佐）

資料 DEI-199-3 に基づき、第 2 回 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術調査専門委員会 議事録が報告された。

5-5. 第 9 回 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 議事録（池田 調査専門委員会 委員長）

- 資料 DEI-199-4 に基づき、第 9 回絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 議事録が報告された。
- 電線・ケーブル調査専門委員会と共同で、2 月に研究会を開催予定(アセットマネジメントからは、2 件発表予定)。
- 解散報告書を作成する。次回運営委員会(2011 年 2 月 16 日)に提出するため、当技術委員会で、メール審議を行う。
- 後継委員会について、池田調査専門委員会委員長と当技術委員会幹事団で検討を行う。次回(第 200 回)技術委員会に後継委員会案を提出する。

5-6. 調査専門委員会活動状況の確認（田中幹事）

資料 DEI-199-5 に基づき、調査専門委員会活動状況の確認を行なった。

- 「アジア地区における有機誘電体・導電性電気電子材料研究の最前線」に関する
  設置を 11 年 1 月、解散を 13 年 12 月とする。
- 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術
  第 2 回委員会を 10 月 1 日に、幹事会を 11 月 5 日に開催済み。第 3 回委員会を 12 月 22 日に開催予定。
- 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術
  第 2 回委員会を 9 月 21 日に開催済み。第 3 回委員会を 1 月中旬に開催予定。
- PEA 法による空間電荷分布測定の校正法標準化と応用測定の開発
  11 月 17 日に委員会を開催済み。次回委員会を 1 月 22 日に開催予定。
- 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント
  12 月 9 日に委員会を開催済み。11 年 2 月に研究会を開催予定。
- 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用
  解散報告書は提出済み。技術報告は執筆中。
- 有機誘電体・半導体の物理と界面デザインに関する
  解散済みで、技術報告は 1194 号として発行済みであるため、リストから削除する。
- 電力設備の絶縁材料から見た劣化診断技術
  技術報告は未提出。
- 屋外用ポリマー絶縁材料の表面機能と長期性能
  技術報告は未提出だが、ほぼ完成している。
- 高電界電気絶縁における電荷挙動と界面
  技術報告は未提出。
- 繰り返しインパルスにおける部分放電計測
  解散済み。技術報告は年内を目処に執筆中。後継委員会については、当技術委員会の下で行うことになるが、詳細は検討中(長尾委員長)。

5-7. 平成 22 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(3 次案)の確認（田中幹事）

資料 DEI-199-6 に基づき、平成 22 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(3 次案)の確認を行った。

- 真空放電，気体放電，液体放電，放電・高電圧・材料一般

1 月 27 日，28 日に宮崎で開催予定。発表件数は 23 件を予定。

- 有機エレクトロニクス研究会

1 月 13 日に愛知工大で開催予定。発表件数は 13 件を予定。

資料 DEI-199-6 に基づき、平成 23 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(0 次案)の確認を行った。

- 屋外用ポリマー絶縁材料調査専門委員会で、6 月の研究会開催が可能か、本間委員長に問い合わせる。
- ナノコンポジット調査専門委員会は、11 月或いは 12 月に研究会開催を計画。
- ナノコンポジット，トリー・トラッキング・絶縁一般，空間電荷で、12 月ぐらいに合同研究会の開催を検討する。
- 平成 24 年 2 月の劣化診断，アセットマネジメント，機器・ケーブル絶縁一般の研究会はなし。絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会の後継委員会での研究会開催を検討する。
- 平成 24 年 3 月 21 日～23 日の全国大会でのシンポジウムテーマとして、当技術委員会としては、「空間電荷」で申請する。
- IEEE DEIS AdCom Member や CEIDP Boad Member の Nominations において日本として、当技術委員会が中心になって戦略的に申請していきたい。次回(第 200 回)技術委員会で検討を行う。

5-8. 「アジア地区における有機誘電体・導電性電気電子材料研究の最前線」に関する調査専門委員会の設置について(長尾委員長，高橋幹事補佐)

資料 DEI-199-7 に基づき、アジア地区における有機誘電体・導電性電気電子材料研究の最前線」に関する調査専門委員会の設置が、A 部門研究調査運営委員会で承認されたことが報告された。

5-9. 第 41 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム 開催報告(高橋幹事補佐)

- 資料 DEI-199-8 に基づき、第 41 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウムの開催報告が行われた。予算としては、収入と支出でほぼ同額であった。
- 学生の参加費を上げて、懇親会費を下げた方が良いのではとの意見があった(懇親会参加費は学生の自己負担となるため)
- 次回(第 42 回)は、シンポジウム後に若手セミナーを実施する。

5-10. 第 200 回 誘電・絶縁材料技術委員会 ～200 回記念特別委員会～ 実施案について(田中幹事)

- 実施及び内容については、基本的には問題なし。
- 開催場所は、交通の便を考えて箱根よりも熱海の方が良い。
- 学際分野の発表は、電気電子絶縁材料システムシンポジウムでの発表の方が良い。
- 絶縁一般の発表では、若手の研究現状を発表してもらっても良い。

６．次回技術委員会の開催

第 200 回 誘電・絶縁材料技術委員会は研究会と併せて 3 月 4 日，5 日の日程で熱海またはその周辺で開催することとした。

以上